

## 序 文

昭和56年度の本学学術研究業績を総集した「富山医科薬科大学研究活動一覧」の第5輯が発行されることとなりました。

この業績集もその内容が質量ともに充実してきたことは洵に欣びにたえないところであります。

本学は開学以来満6年半を経過し、この3月を以て完成時期を迎えることとなり、学内各部門の研究施設も整備充実され、研究活動も軌道に乗って来たようであります。

己に設置された薬学部の大学院博士課程に加えてこの4月からは医学部の大学院設置も認められたことであり、本学の研究活動は今後いよいよ活発となることは明らかであります。

ちなみに文部省科学研究費の本学の採択状況をみるに昭和54年度は37件4,074万円、55年度は36件4,761万円、56年度は41件、7,420万円と著しい増加傾向を辿り、新設大学としては抜群であり、既設の大学に比しても遜色ない成績でありました。これは本学のすぐれた研究活動状況をあらわす一つの示標ともいえます。

本学は医学、薬学、東洋医学と西洋医学の密接な連繋のもとに生命科学の学際的分野での研究を推進するには恵まれた環境にあると思います。

すぐれた研究は、すぐれたアイデアと研究者相互の知的、技術的連携によって大きく発展するものであり、この観点から、この研究活動一覧のもつ意義は大きいと言えます。

1982年3月

学 長 平 松 博

